

2011年

●「Regional Outlook（地域展望）2011」

投資減少や高齢化、人口動態の変化に対応しつつ、地域の実情に根差した政策を体系づける方向性を提唱

2014年

●「Regional Outlook（地域展望）2014」

教育、仕事、健康などそこに暮らす人々の生活の質をあげるための地域行政の在り方について分析

●「地域の幸福度の評価に関する報告書」

所得・雇用・教育・健康・サービス・環境・安全市民参加の指標を用いて市民福祉水準の国際比較を実施

2016年

●「チャンピオンメイヤーイニシアティブ」発足

都市レベルでの包摂的成長を推進するための首長ネットワーク ※2023年に郡仙台市長参画

2019年

●「Regional Outlook（地域展望）2019」

地域の実情に即した地域政策により、いかに生産性向上・格差是正・生活の質の改善を図り、持続可能な社会を維持していくことが可能かを分析

●「OECD都市政策の原則」

「スマート」・「サステナブル」・「インクルーシブ」な都市を実現するための、都市政策の立案・実行に関する指針。

2020年

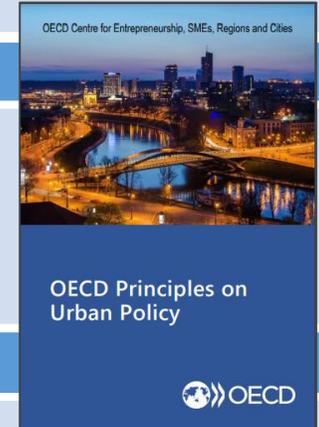
●「新型コロナウイルスへの都市の政策対応」

都市政策の重要な方向性として「デジタル化」・「環境配慮」・「包摂性」の3つの視点の重要性を強調

2023年

●G7香川・高松都市大臣会合

「ネットゼロ、レジリエンス」、「インクルーシブ」、「デジタル」について議論。地方都市・大都市が包括的に成長することの重要性を確認



OECD都市政策の原則（2019年）

「インクルーシブな都市」の議論（G7香川・高松都市大臣会合）

◎ 多様な背景を持つ人々にとって魅力的でアクセスしやすい都市部

魅力的でアクセスしやすいコミュニティを強化・創造する戦略の実施

- 我々は、人間中心のモデルとサービスへの近接性を促進する都市戦略を支持する。住宅、公園、上下水道、情報ネットワーク、エネルギー、医療、社会・文化サービス、教育、商業サービス、レジャースポーツ施設、文化・娯楽施設、自転車道・歩道などの都市インフラは、インクルーシブを促進し、利便性とアクセスしやすさを最大化するよう、調整のとれた方法により計画・開発・管理されなければならない。…（以下略）

都市における安全とアクセスしやすさ

- 我々は、公園や公共空間での犯罪から人々の安全を確保し推進するための政策プログラムの重要性を認識する。特に、女児、女性、子ども、高齢者、障害者を守る必要がある。我々は、アクセスしやすさを向上させるために、ユニバーサルデザインやデジタル技術を提供することで安全性を向上させ、都市中心部の利用を阻害する障壁を取り除くことなど、すべての利用者を念頭に置いた都市設計をすることの重要性を強調する。

◎ 協働に向けて

地方政府の役割と地域に根差したアプローチ

- 地方政府は、市民に最も近い階層の政府として、政策の開発、実施、評価において、地域の状況について独自の視点を提供し、地域の状況に対応するために適した立場にある。我々は、インクルーシブは地域の状況に強く基づくものであるため、地域に根差したアプローチの重要性を強調する。

会議の開催年間スケジュール予定

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
★		★		★		★			★
(6月2日)		(8月後半)		(10~11月)		(12月末~1月前半)			(3月下旬)
第1回 ・委員からの話題提供 ・意見交換		第2回 ・指針に盛り込む 視点等に関する 意見交換		第3回 ・指針（中間案素案） に関する意見交換		第4回 ・指針（最終案素案） に関する意見交換			指針策定